

# あたらしくはいった本 (平成30年9月 貸出開始資料から)

- 小説 冷たい檻(伊岡瞬/著) ざんねんなスパイ(一條次郎/著) すぐ死ぬんだから(内館牧子/著) 夜の側に立つ(小野寺史宜/著) 母のあしおと(神田茜/著) 青少年のための小説入門(久保寺健彦/著) 翼竜館の宝石商人(高野史緒/著) 深夜の博覧会(辻真先/著) ボーダレス(菅田哲也/著) ブロードキャスト(湊かなえ/著) ルーム・オブ・ワンダー(ジュリアン・サンドレル/著)
- 随筆・詩などの文学 たそがれてゆく子さん(伊藤比呂美/著) バウムクーヘン(谷川俊太郎/著) ヨーコさんの“言葉”(佐野洋子/著) 小岩へ(島尾伸三/著)
- その他の本 教科書には書かれていない江戸時代(山本博文/著) 九州の戦争遺跡(江浜明德/著) 女子のための「手に職」図鑑(華井由利奈/著) 図説指輪の文化史(浜本隆志/著) 虹の図鑑(武田康男/文・写真) 慢性便秘症を治す本(水上健/著) お母さんみたいな母親にはなりたくないのに(田房永子/著)



『ざんねんなスパイ』 一條次郎著、新潮社



『九州の戦争遺跡』 江浜明德著、海鳥社



『お母さんみたいな母親にはなりたくないのに』 田房永子著、河出書房新社

## みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

## としょかんカレンダー

平成30年	日	月	火	水	木	金	土
11	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

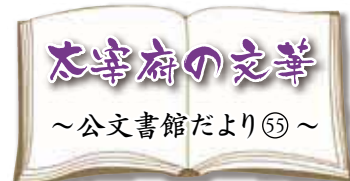
○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

## 定遠引揚げ作業と小野隆助

太宰府天満宮の社家出身で幕末より活躍し、衆議院議員・県知事を歴任した太宰府の名士小野隆助は、日清戦争で沈没した清国の北洋艦隊の旗艦「定遠」から数々の物品を引き揚げました。作業は明治28(1895)年7月より開始し、明治30年11月に終了しました。

定遠には「鎮遠」という同型艦が存在し、両艦は北洋艦隊に配備されました。外務省の記録には2隻を「独逸ニ注文セシ砲塔甲鉄ナル定遠ノ如キ鎮遠ノ如キ何レモ七千四百三十噸ノ姉妹戦艦(中略)其頃東洋ニ於テハ觀ルニ稀ナル者ナリ(後略)」と記しており、日本にとつて大きな脅威でした。



～公文書館だより⑤～

天満宮で開催された菅公一千年祭の際に黒田家当主の黒田長成を迎える際にも利用されました。

日清戦争中、戦地で入手した兵器などは全国各地で「戦利品」として公開され、新聞を賑わせました。日清戦争後、福岡県下では神社・学校・博物館に配布され、太宰府には太宰府天満宮・竈門神社・建設計画中の鎮西博物館などに武器・弾薬の品々が戦利品として配布されました。

小野隆助は日清戦争後の明治29年1月25日から定遠より引揚げた戦利品の展示会を太宰府天満宮の会議所で開きました。また、明治31年にも太宰府の自宅にて引揚げ品を陳列して、公開しました。

北洋艦隊の引揚げ作業は日清戦争中に計画されました。それは海軍が造船技術・砲術などの調査研究として引揚げを求めたからです。その作業は複数の「引揚げ許可人」が回収許可を申請して行われ、小野は明治28年5月に許

公文書館 篠崎 将貴